

岡太神社・大瀧神社
千三百年大祭記念事業



高木 厚人 書 「子規句集」より

現代かな作家と装飾料紙

—越前によみがえる平安の美

平成30年

10月19日[金]~11月26日[月]

紙の文化博物館 二階展示室

開館
時間

9:30~17:00

入館は16:30まで
毎週火曜日休館

福井県越前市新在家町11-12

TEL:0778-42-0016

www.echizenwashi.jp

【入館料】大人300円/団体(15人以上)200円/障害者手帳等をお持ちの方は150円
高校生以下無料 ※卯立の工芸館との共通料金です。

【主催】越前市 本展覧会は、越前装飾料紙シンポジウム(平成30年10月28日開催、同シンポジウム実行委員会主催)との連携企画です。



越前和紙の里

紙の文化博物館
Museum of Washi and Culture

特別揮毫

黒田 賢一

日本書芸院理事長、読売書法会常任総務、日展理事。「現代書道二十人展」出品。

高木 厚人

日展会員、臨池会理事長、大東文化大学教授。「現代書道二十人展」出品。

土橋 靖子

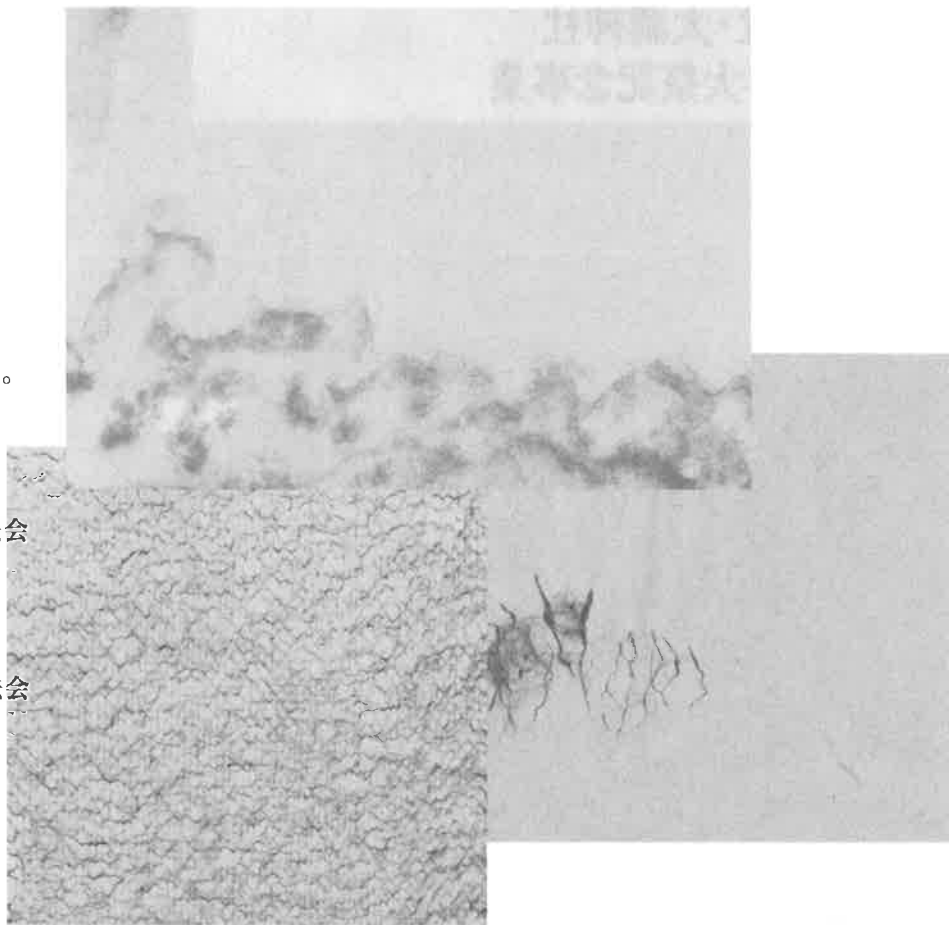
大東文化大学特任教授、日展監事、読売書法会常任総務。「現代書道二十人展」出品。

横山 煌平

京都橘大学名誉教授、日展評議員、読売書法会常任理事。「現代書道二十人展」出品。

渡辺 墨仙

毎日書道会顧問、日本書道美術院常任顧問、かな書道作家協会副会長。



書や文学の世界で憧れてやまない平安王朝文化の美意識。

越前和紙の職人達が平安時代の「打雲」や「飛雲」、「羅紋」の復元に挑戦しました。

現代日本を代表する五人のかな作家が越前の装飾料紙に生命を吹き込み、
新しい「かなの美」が出現します。

合わせて、装飾料紙の古典ともいえる作品や、越前和紙の近世資料も展示し、
日本人が紙に投影してきた美の歴史をご覧ください。

同時開催 卯立の工芸館 特別展

紙漉き職人達の挑戦

—— 越前によみがえる平安の美 ——

卯立の工芸館

福井県越前市新在家町9-21-2
TEL:0778-43-7800

※会期、休館日、開館時間などは紙の文化博物館と同様です。
※入館料は紙の文化博物館との共通料金です。



お車でお越しの場合

●米原I.Cより武生I.C(約1時間) 武生I.Cより10分

JRをご利用の場合

●JR大阪駅～武生駅(特急2時間) ●JR名古屋駅～武生駅(特急2時間)
●JR金沢駅～武生駅(特急1時間)

タクシーをご利用の場合

●JR武生駅よりタクシーで20分

バスをご利用の場合

●JR武生駅より福鉄バス南越線で30分「和紙の里」で下車。
そこから徒歩3分